

< 改正後 >

農業土木工事施工管理基準

令和8年4月

香川県農政水産部

< 現行 >

農業土木工事施工管理基準

令和6年10月

香川県農政水産部

< 改正後 >

工種	項目	区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準
40 堤防 土工	(1)	材	10 突圍めによる土の締固め試験	JIS A 1210	工事着手前1回及び盛土材料が変わった場合。
			11 土粒子の密度試験	JIS A 1202	
		施	12 土の含水比試験	JIS A 1203	[共通事項] 延長4.0m毎に1箇所を標準とする。実施割合については、工事監督員の指示による。
			13 現場密度の測定	JIS A 1214 他	
	14 現場水透度の測定		[12 土の含水比試験] 午前の施工前に1回、午後の施工前に1回、用土の含水比試験を実施する。 [13 現場密度の測定] 盛土の現場密度の測定は、盛土高1.0m毎に実施し、1箇所当たりの個数は2~3個とする。 実施場所については工事監督員の指示による。 ただし、粗土、さや土については、現場の状況により別途工事監督員が指示する。 (なお、測定には含水比試験も含む。) [14 現場透水度の測定] 盛土高1.0m毎に現場透水度の測定を実施する。 実施場所については工事監督員の指示による。		

(参考)規格値	管理方式	処置
<p>【含水比の基準】</p> 許容含水比 = (標準突圍め最適含水比) - (盛土含水比) ≤ ± 5 %		
<p>【現場密度の基準】</p> 1. 乾燥密度で規定する場合 $D値 = \frac{\text{盛土乾燥密度}}{\text{標準突圍め最大乾燥密度}} \times 100 \geq 95\%$ $C値 = \frac{\text{盛土乾燥密度}}{\text{盛土と同じ含水比における突圍め乾燥密度}} \times 100 \geq 95\%$ 2. 飽和度で規定する場合 飽和度は85~96%の範囲とする。 3. 空気間隙率で規定する場合 空気間隙率は2~10%の範囲とする。		
<p>【透水度の基準】</p> 鋼土 $K = 1 \times 10^{-7} \sim 1 \times 10^{-1} \text{ cm}^2/\text{sec}$ 抱土 $1 \times 10^{-9} \sim 1 \times 10^{-1}$ さや土 $1 \times 10^{-1} \sim 1 \times 10^{-2}$ (K: 透水係数)		

< 現行 >

工種	項目	区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準
40 堤防 土工	(1)	材	10 突圍めによる土の締固め試験	JIS A 1210	工事着手前1回及び盛土材料が変わった場合。
			11 土粒子の密度試験	JIS A 1202	
		施	12 土の含水比試験	JIS A 1203	[共通事項] 測定箇所は、4.0m当り1箇所を標準とするが、工事監督員の指示による。 ただし、4.0m以下は2箇所とする。
			13 現場密度の測定	JIS A 1214 他	
	14 現場水透度の測定		[12 土の含水比試験] 午前の施工前に1回、午後の施工前に1回、用土の含水比試験を実施する。 [13 現場密度の測定] 盛土の現場密度の測定は、盛土高1.0mごとに実施し、1箇所当たりの個数は2~3個とする。 実施場所については工事監督員の指示による。 ただし、粗土、さや土については、現場の状況により別途工事監督員が指示する。 (なお、測定には含水比試験も含む。) [14 現場透水度の測定] 盛土高1.0mごとに現場透水度の測定を実施する。 実施場所については工事監督員の指示による。		

(参考)規格値	管理方式	処置
<p>【含水比の基準】</p> 許容含水比 = (標準突圍め最適含水比) - (盛土含水比) ≤ ± 5 %		
<p>【現場密度の基準】</p> 1. 乾燥密度で規定する場合 $D値 = \frac{\text{盛土乾燥密度}}{\text{標準突圍め最大乾燥密度}} \times 100 \geq 95\%$ $C値 = \frac{\text{盛土乾燥密度}}{\text{盛土と同じ含水比における突圍め乾燥密度}} \times 100 \geq 95\%$ 2. 飽和度で規定する場合 飽和度は85~96%の範囲とする。 3. 空気間隙率で規定する場合 空気間隙率は2~10%の範囲とする。		
<p>【透水度の基準】</p> 鋼土 $K = 1 \times 10^{-7} \sim 1 \times 10^{-1} \text{ cm}^2/\text{sec}$ 抱土 $1 \times 10^{-9} \sim 1 \times 10^{-1}$ さや土 $1 \times 10^{-1} \sim 1 \times 10^{-2}$ (K: 透水係数)		

< 改正後 >

5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係

(1) プレキャストコンクリート製品関係

種 類	規 格	試験方法	標準ロット数
無筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管	JIS A 5371 JIS A 5372	JIS A 5371 JIS A 5372	300本
遠心力鉄筋コンクリート管 (ヒューム管)	JIS A 5372	JIS A 5372	直 管 φ 150～ 350 500本 φ 400～1,000 200本 φ 1,100～1,800 150本 φ 2,000～2,400 130本 φ 2,600～3,000 100本 異形管、T字管、Y字管、 短管 100本 曲管、支管 50本
遠心力鉄筋コンクリート杭	JIS A 5372	JIS A 5372	200本
プレテンション方式遠心力 高強度プレストレストコンク リート杭 (PHC杭)	JIS A 5373	JIS A 5373	外 径 300～ 400 1,000本 450～ 600 700本 700～1,200 500本
コンクリート矢板	JIS A 5372 JIS A 5373	JIS A 5372 JIS A 5373	1,000枚
鉄筋コンクリートフリューム 及び鉄筋コンクリートベンチ フリューム	JIS A 5372	JIS A 5372	500個
鉄筋コンクリート組立土止め	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
鉄筋コンクリートU形 (U字溝)	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
道路用鉄筋コンクリート側溝	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
舗装用コンクリート平板	JIS A 5371	JIS A 5371	2,000枚
コンクリート境界ブロック (地先境界及び歩道境界)	JIS A 5371	JIS A 5371	1,000個
コンクリートL形及び鉄筋コ ンクリートL形	JIS A 5371 JIS A 5372	JIS A 5371 JIS A 5372	1,000個
組合せ暗渠ブロック	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
コンクリート積みブロック	JIS A 5371	JIS A 5371	1,000個
建築用コンクリートブロック	JIS A 5406	JIS A 5406	1,000個

試験 (測定) 基準	管 理 方 式	処 置
(1) JIS 製品 個数の標準ロット数以下の場合 は、製造業者の実施している JIS に よる品質管理の工場報告書により確 認するものとし、標準ロット数以上 の場合は、ロット数、又はその端数 毎に、工場における強度試験に立会 うものとする。 <u>ただし、現場へ搬入の都度、外観、 形状、証明書 (JIS マーク表示) を 全数確認するものとする。</u> (2) JIS 同等品 前項に準ずる。 (3) JIS 外製品 別に定める規格により実施する ものとする。ただし、定めのないも のは、類似の JIS 製品の品質管理の 規定を準用する。	(1) 測定した結果が 20 点以 上の場合は管理図表によ る。 20 点未満の場合は結果 一覧表による。	(1) メーカーの報告書によ る場合は内容チェックを し、疑問があれば立会検 査をする。 (2) 不合格になった材料 は、使用してはならない。

< 現 行 >

5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係

(1) プレキャストコンクリート製品関係

種 類	規 格	試験方法	標準ロット数
無筋コンクリート管及び鉄筋 コンクリート管	JIS A 5371 JIS A 5372	JIS A 5371 JIS A 5372	300本
遠心力鉄筋コンクリート管 (ヒューム管)	JIS A 5372	JIS A 5372	直 管 φ 150～ 350 500本 φ 400～1,000 200本 φ 1,100～1,800 150本 φ 2,000～2,400 130本 φ 2,600～3,000 100本 異形管、T字管、Y字管、 短管 100本 曲管、支管 50本
遠心力鉄筋コンクリート杭	JIS A 5372	JIS A 5372	200本
プレテンション方式遠心力 高強度プレストレストコンク リート杭 (PHC杭)	JIS A 5373	JIS A 5373	外 径 300～ 400 1,000本 450～ 600 700本 700～1,200 500本
コンクリート矢板	JIS A 5372 JIS A 5373	JIS A 5372 JIS A 5373	1,000枚
鉄筋コンクリートフリューム 及び鉄筋コンクリートベンチ フリューム	JIS A 5372	JIS A 5372	500個
鉄筋コンクリート組立土止め	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
鉄筋コンクリートU形 (U字溝)	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
道路用鉄筋コンクリート側溝	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
舗装用コンクリート平板	JIS A 5371	JIS A 5371	2,000枚
コンクリート境界ブロック (地先境界及び歩道境界)	JIS A 5371	JIS A 5371	1,000個
コンクリートL形及び鉄筋コ ンクリートL形	JIS A 5371 JIS A 5372	JIS A 5371 JIS A 5372	1,000個
組合せ暗渠ブロック	JIS A 5372	JIS A 5372	1,000個
コンクリート積みブロック	JIS A 5371	JIS A 5371	1,000個
建築用コンクリートブロック	JIS A 5406	JIS A 5406	1,000個

試験 (測定) 基準	管 理 方 式	処 置
(1) JIS 製品 個数の標準ロット数以下の場合 は、製造業者の実施している JIS に よる品質管理の工場報告書により確 認するものとし、標準ロット数以上 の場合は、ロット数、又はその端数 毎に、工場における強度試験に立会 うものとする。 <u>ただし、現場へ搬入の都度、外観、 形状については全数を、寸法 (又は 重量) については 100 個、又はその 端数毎に、1 個を抽出して再検査す るものとする。</u> <u>試験 (測定) 項目、方法等は種別 により異なり検査であるので、必要 な JIS は前もって充分調べておく必 要がある。</u> (2) JIS 同等品 前項に準ずる。 (3) JIS 外製品 別に定める規格により実施する ものとする。ただし、定めのないも のは、類似の JIS 製品の品質管理の 規定を準用する。	(1) 測定した結果が 20 点以 上の場合は管理図表によ る。 20 点未満の場合は結果 一覧表による。	(1) メーカーの報告書によ る場合は内容チェックを し、疑問があれば立会検 査をする。 (2) 不合格になった材料 は、使用してはならない。